

## ポスター発表プログラム

学会は発表の機会を提供しているもので、内容に含まれる技術や研究の成果について保証しているものではないことをお断りします。

発表日程 奇数番号：7月6日(水)，偶数番号：7月7日(木) (ハイフンの後の2ケタ数字)

## ポスターセッション1 陸域海域の汚染・野生生物・食の安全

P1-01	福島県の森林における空間線量率の推移	○山村充, 氏家亨(国土防災技術(株))
P1-02	福島県森林立木等の放射性セシウム濃度の推移	○氏家亨, 山村充(国土防災技術(株))
P1-03	森林施業地における土砂移動に伴う放射性セシウムの動態	○海虎, 氏家亨, 山村充(国土防災技術(株))
P1-04	事故由来放射性物質の環境動態を考慮したコンパートメントモデルの開発および試解析	○操上広志・新里忠史・鶴田忠彦・加藤智子・北村哲浩(原子力機構), 菅野光大・黒澤直弘(V. I. C.)
P1-05	土壌薄片を用いた土壌微細領域における放射性セシウム分布と移動要因解析	井倉将人(農研機構・農業環境変動研究センター)
P1-06	土壌有機物の分解が可給態放射性セシウム量の変動に与える影響評価	○新井宏受, 山口敏郎, 櫻田喬雄, 荒井宏, 田久創大, 大沼透, 石井慶造(東北大院 工)
P1-07	東福島における空間線量率の経時変化の特徴	○飽本一裕(帝京大学大学院科), 森政治(マモテック)
P1-08	海産大型緑藻の Expressed Sequence Tag 解析から得られたストロンチウムを結合する新規タンパク質の性質	渡邊直之・梅澤朋代・富澤美月・大津郁也・○佐藤浩之(東邦大・理・生物分子)
P1-09	福島県内に生息するイノシシの放射性セシウム濃度について	○大町仁志, 根本唯, 齋藤梨絵, 溝口俊夫(福島県環境創造センター)
P1-10	トビケラウオッチ(第2報) 水生昆虫を用いた河川環境の放射性セシウムモニタリング	○上野大介1, 大坪栄二郎1, 染谷孝1, 水川葉月2, 稲波修2, 長坂洋光3, 藤野毅4, 大葉隆5, 渡邊泉6, 龍田希7, 仲井邦彦7 (1佐賀大学農学部, 2北海道大学大学院獣医学研究科, 3いであ(株), 4埼玉大学大学院理工学研究科, 5福島県立医科大学, 6東京農工大学大学院農学研究院, 7東北大学大学院医学系研究科)
P1-11	2015年に採取して干した野生キノコの戻し水への放射性セシウムの(Cs)溶出速度	○山口敏朗, 石井慶造, 松山成男, 寺川貴樹, 新井宏受, 大沼透, 荒井宏, 田久創大(東北大学大学院 工学研究科)
P1-12	福島水田における米中および各粒径土壌中の <sup>137</sup> Cs/ <sup>40</sup> K放射能比の比較	○辻本聖也1・2, 宮下直1・2, ゲン タイン ハイ1・2, 中島覚1・2・3 (1広島大学大学院理学研究科, 2広島大学大学院リーディングプログラム機構, 3広島大学自然科学研究支援開発センター)
P1-13	フキノトウ含有の放射性セシウムの年次変化	○稲田文, 金澤等(福島大・共生システム理工)
P1-14	コケによるセシウムの吸収	○森村浩司, 相澤朋子, 上田賢志, 砂入道夫(日本大学生物資源科学部)

## ポスターセッション2 保管貯蔵・廃棄物対策・減容技術

P2-01	多機能盛土による土壌中セシウム移行抑制に関する実証実験(Ⅱ)	○大石徹(日鉄住金環境), 伊藤洋(北九州市立大学), 安藤彰宣(旭化成ジオテック)
P2-02	仮置場資材の強度・耐久性に関する調査研究	○高橋勇介(福島県環境創造センター), 伊藤哲司・長澤浩(福島県ハイテクプラザ福島技術支援センター)

P2-03	上部隔離層と下部土壌吸着層をもつ特定一般廃棄物焼却灰埋立地におけるセシウム浸出挙動の実験的解明	○石森洋行, 遠藤和人((国研)国立環境研究所)
P2-04	空間線量率と家屋等外面の表面汚染密度の関係について(第2報)	○山田正人・石垣智基・高田光康((国研)国立環境研究所), 立尾浩一((一財)日本環境衛生センター)
P2-05	焼却灰中ストロンチウム90濃度について	○山本貴士, 竹内幸生, 大迫政浩((国研)国立環境研究所)
P2-06	福島県の一般廃棄物焼却施設から発生した焼却残渣からの放射性Csの溶出特性	○国分宏城, 吉田博文, 村沢直治, 山崎眞一(福島県環境創造センター)
P2-07	汚染土壌の減容化実現に向けた粘土化学的手法の検討	○佐藤久子 <sup>1</sup> ・古鎌恵子 <sup>1</sup> ・米地明美 <sup>1</sup> ・山岸皓彦 <sup>2</sup> ・田村堅志 <sup>3</sup> ・金子芳郎 <sup>4</sup> ・山下浩 <sup>1</sup> ・大森大輔 <sup>5</sup> ・森田昌敏 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛大院理工, <sup>2</sup> 環境測定品質管理センター, <sup>3</sup> 物材研, <sup>4</sup> 鹿児島大院理工, <sup>5</sup> (株)ダイキアクシス)
P2-08	プルシアンブルー合成と均一液液抽出(HoLLE)に基づく放射性セシウム除去技術の創出	○小野寺大輝 <sup>1</sup> , 山口仁志 <sup>2</sup> , 伊藤弘康 <sup>1</sup> , 押手茂克 <sup>3</sup> , 熊沢紀之 <sup>1</sup> , 五十嵐淑郎 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 茨城大工, <sup>2</sup> 物材機構, <sup>3</sup> 福島高専)
P2-09	フェロシアン化銅粉末の粒径とセシウム吸着特性	○高崎幹大 <sup>1</sup> , 木戸玄徳 <sup>1</sup> , 南公隆 <sup>2</sup> , 川本徹 <sup>2</sup> , 吉野和典 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 関東化学(株), <sup>2</sup> (国研)産業技術総合研究所)
P2-10	焼却対象物の異なる廃棄物焼却施設における空間線量率調査報告	○前背戸智晴 <sup>1</sup> , 水原詞治 <sup>2</sup> , 野村和孝 <sup>1</sup> , 竹内幸生 <sup>1</sup> , 倉持秀敏 <sup>1</sup> , 大迫政浩 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> (国研)国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター, <sup>2</sup> 龍谷大学 理工学部)
P2-11	磁性鉄粉を用いた乾式土壌分級式試作機による除染	○中島春介 <sup>1</sup> , 岩間彩 <sup>1</sup> , 森茂久 <sup>1</sup> , 久保ひとみ <sup>2</sup> , 三苦好治 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 三和テッキ(株), <sup>2</sup> 県立広島大学 生命環境学部)
P2-12	鉄系吸着材を用いたセシウム吸脱着及び減容化に関する考察	○宮原英隆・平井恭正(石原産業(株)), 本田克久(愛媛大学)
P2-13	繊維状吸着材による放射性セシウム回収・保管技術の開発	○大城優 <sup>1</sup> , 小林高臣 <sup>1</sup> , 内田修司 <sup>2</sup> ( <sup>1</sup> 長岡技術科学大学, <sup>2</sup> 福島工業高等専門学校)
P2-14	樹皮・端材の分散型焼却処分方法の検討	○菅野大樹・佐藤理夫(福島大学大学院 理工学研究科)
P2-15	フェロシアン化銅からなる磁気分離用セシウム吸着剤の開発	○木戸玄徳 <sup>1</sup> , 高崎幹大 <sup>1</sup> , 川本徹 <sup>2</sup> , 吉野和典 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 関東化学(株), <sup>2</sup> (国研)産業技術総合研究所)

### ポスターセッション3 除染技術・計測技術

P3-01	PVA(ポリビニルアルコール)割繊維不織布「セシウム捕捉ネット」	○印藤嶠・石井真吏・安岡実・中田浩義(ダイオ化成(株)), 吉田将冬・熊沢紀之(茨城大学)
P3-02	飯館村の山林腐葉土中のセシウムの降雨による移動とベントナイト・ポリオンコンプレックスを用いた捕捉	○長洲亮佑, 吉田将冬, 熊沢紀之(茨城大学工学部)
P3-03	マイクロバブルフローテーション法における各種フェロシアン化金属の浮上特性に関する基礎的研究	○石野翔大, 日下英史(京都大学大学院エネルギー科学研究科)
P3-04	土壌摩砕操作が与えるCs, Sr溶出への影響	○木村建貴(京都大学大学院工学研究科), 福谷哲・池上麻衣子(京都大学原子炉実験所), 米田稔・高岡昌輝(京都大学大学院工学研究科)
P3-05	電気泳動を用いた放射能汚染土壌の放射能濃度低減	○大谷浩樹(首都大学東京), 中本明・吉田嘉郎((株)ハサル)
P3-06	H*(10)空間線量率に関する除染評価シミュレーション	○Alex Malins, 操上広志, 北村哲浩, 町田昌彦(日本原子力研究開発機構)
P3-07	セシウムの簡便・低コスト除染:天然モルデナイト付着シートの利用	○松枝直人 <sup>1</sup> , Botoman Lester <sup>1</sup> , Erni Johan <sup>2</sup> , 青野宏通 <sup>2</sup> , 森田昌敏 <sup>1</sup> ( <sup>1</sup> 愛媛大学大学院農学研究科, <sup>2</sup> 愛媛大学大学院理工学研究科)

P3-08	水中の含放射性物質コロイド粒子のマイクロバブルフローテーションによる浮上分離に関する基礎的研究	○日下英史, 石野翔太(京都大学大学院エネルギー科学研究科)
P3-09	ミネラル水による放射性セシウムからの放出γ線低減に関する研究 その2 現地実験を中心として	○小栗和幸1, 五島秀一2, 青木英樹2, 矢作直樹3, 清水雅昭4, 志賀和彦4 (1金沢工業大学, 2(一財)秀物理学研究所, 3元東京大学, 4(株)清水)
P3-10	水の微小エネルギーを用いた放射性セシウムの根本的低減化	杉原淳(杉原科学技術研究所)
P3-11	無人ヘリ及びML-EM法を用いた放射能汚染分布可視化技術の基礎研究	○松山哲生・石井慶造・松山成男・寺川貴樹・田久創大・新井宏受・荒井宏・大沼透・山口敏朗・佐藤光義(東北大学大学院工学研究科), 眞田幸尚・西澤幸康((国研)日本原子力研究開発機構)
P3-12	銅置換体プルシアンブルー担持不織布カートリッジを用いた淡水中の放射性セシウムのモニタリングの高度化と浄化	○保高徹生1, 伊東かおる2, 新野美佐子2, 星野輝彦2, 今藤好彦3, 辻英樹4, 宮津進5 (1産業技術総合研究所, 2福島県農業総合センター, 3日本バイリーン(株), 4国立環境研究所, 5農研機構農村工学研究部門)
P3-13	資源化処理した汚染がれきの放射能分布測定・評価手法の検討	○島田太郎, 高井静霞, 武田聖司(原子力機構安全研究センター)
P3-14	KURAMA-IIによる歩行サーベイ技術の検討	○木村裕・佐藤信行・井上広海・菅井裕之(福島県環境創造センター研究部)
P3-15	山林の空間線量の減少傾向把握のための無線モニタリングシステムの開発	○田久創大・石井慶造・松山成男・寺川貴樹・松山哲生・新井宏受・荒井宏・大沼透・山口敏朗・佐藤光義(東北大学大学院工学研究科)
P3-16	排水全量の放射能モニタリング装置の実用化開発(II)	○平野裕之1, 福井久智1, 太田裕士1, 秦野歳久2, 斎藤英之3 (1鹿島建設(株), 2量研機構, 3日本金属化学(株))
P3-17	濃度測定車による大型土のうに入った土壌の放射能濃度の測定	○木川田一弥, 武石学(安藤ハザマ)

#### ポスターセッション4 環境再生・復旧・復興, リスクコミュニケーション

P4-01	(欠)	
P4-02	有用微生物群(EM)を用いた土壌改良による放射性Csの農作物への移行抑制及びカリウム施肥との比較	○奥本秀一1, 新谷正樹1・2, 比嘉照夫3 (1(株)EM研究機構, 2東京女子医科大学循環器小児科, 3名桜大学国際EM研究技術センター)
P4-03	放射線遮蔽シートによる住家の室内ガンマ線低減効果	○小西利樹1, 田中智洋1, 田嶋宏邦1, 一瀬直次2 (1レンゴー, 2日本マタイ)
P4-04	除染前後の屋外空間線量率の時空間分布特性	○田中敦・高木麻衣・土井妙子・中山祥嗣(国立環境研究所), 菅野宗夫・土器屋由紀子・田尾陽一(ふくしま再生の会)
P4-05	京都大学生存圏シンポジウムを介した東日本大震災の復興支援研究	○上田義勝1, 徳田陽明2, 杉山暁史1, 伊藤嘉昭3, 二瓶直登4 (1京都大学生存圏研究所, 2滋賀大学教育学部, 3京都大学化学研究所, 4東京大学大学院農学生命科学研究科)
P4-06	宮城県南丸森町の森林エッジでの線量率の変動を議論するための土壌コア計測法について	原田茂樹(宮城大 食産業), ○進藤秀・市川健・山口秀平((株)復建技術コンサルタント)
P4-07	効果がない放射線対策および除染技術が信じられた理由	佐藤理夫(福島大理工)
P4-08	プルシアンブルー被膜磁性粒子を用いた環境調和型除染技術の開発	○金野俊太郎1, 大河内博1, 勝見尚也1, 反町篤行2, 床波真司3, 片岡淳4, 岸本彩4 (1早稲田大学大学院創造理工学術院, 2福島県立医科大学医学部, 3弘前大学被ばく医療総合研究所, 4早稲田大学大学院先進理工研究科)